



## 先生たちも学んでいます

今日12日(月)は、校内研修がありました。今回は、学級活動の授業づくりを職員みんなで考えました。子供たち自身が日常生活をよりよくする授業づくりや子供たちの自己実現のためのめあての立て方等を学び合いました。先生たちは、学年部ごとに分かれて授業づくりを行いました。低学年部は「ふわふわ言葉とちくちく言葉」、ふれあい学級は「あいさつ名人をめざそう」、中学年部は「相手の気持ちをわかってはたらきかける」、高学年部は「メディアとの付き合い方を考えよう」という授業づくりです。

先生たちは、子供たちの生活改善を目指し、授業の最後は子供たちが自分の意思でめあてを立て実践するという流れです。先生たちも熱心な意見を出し合い、子供たちの実態に思いを馳せながらどういう授業の流し方をするのか、子供たちにどういう課題意識をもたせるかなど、研修は、真剣で共感的な雰囲気の中、行われました。研修の時間を通して、一人一人の学ぶ意欲と、学校としてのまとまりを味わうことができ、「帯西レッド」「帯西グリーン」の心を感じることができました。



## ひこうきぐも vol.7

ニューオリンズを後ろ髪引かれる思いで後にし、ニューヨークへと向かいました。ニューヨーク・シティとは、マンハッタンを中心に、ブルックリン、クイーンズ、ブロンクス、スタテン島の5区から成り立っている市です。しかし、主な観光スポットや娯楽スポットは、マンハッタンに集中しています。そのマンハッタンは、道路が基盤の目ようになっていて、移動が楽にできます。とは言うものの、ニューヨークが初めての自分にとっては、最初から楽に移動ができたという訳にはいきませんでした。

生まれて初めてニューヨークの地下鉄に乗ったときのことで、悪名高い!?地下鉄に乗るということで、最初は少し緊張していました。地下鉄の切符を買って、入り口にある案内板を見て、目的地を探しました。しかし、地下鉄に乗るはずが、出口の方へ行ってしまう、また地上へと舞い戻ってしまいました。そこで、近くにいた人に尋ね、目的地を言うと、親切にも目指す地下鉄乗り場に連れて行ってくれました。

人の親切のお陰で、やっとの思いで地下鉄に乗ることができましたが、意外と地下鉄がきれいなので、自分のイメージ(落書きだらけかと思っていましたが...)との違いにびっくりしました。後で分かったことなのですが、落書きに困り、落書きがしにくく、落書きが落ちやすい日本製の地下鉄を導入したということでした。

発車寸前のことです。今にも地下鉄のドアが閉まろうとしたとき、白髪の老婆が、地下鉄に滑り込むようにして乗り込んできました。それを見ていた周囲の人たちは、席を老婆に譲り、「間に合っよかったね。」とみんなで温かい声を掛けていました。老婆も「ありがとう。」と嬉しそうに言葉を返していました。たまたまそこに乗り合わせた人間同士が、まるで昔からの知り合いみたいに接しているのです。

多種多様な人種が乗りあう地下鉄の中で、アメリカの持つパワーを垣間見た出来事でした。

※「ひこうきぐも」は、あくまでも荒木が旅をした当時、約30年前の街の様子です。現在とは状況に違いがあることをご了承ください。